



平成19年8月30日

各 位

会 社 名 モロゾフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川喜多 佑一
(コード番号 2217 東証・大証第1部)
問合せ先 代表取締役副社長 松村 有芳
(TEL. 078-822-5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年3月26日の決算発表時に公表した平成20年1月期中間期(平成19年2月1日~平成19年7月31日)および通期(平成19年2月1日~平成20年1月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年1月期中間業績予想数値の修正(平成19年2月1日~平成19年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年3月26日発表)	13,000	450	400
今回修正予想(B)	13,200	650	530
増減額(B-A)	200	200	130
増減率(%)	1.5	44.4	32.5
(ご参考) 前期実績(平成19年1月期中間)	12,723	333	44

(金額の単位:百万円)

2. 平成20年1月期通期業績予想数値の修正(平成19年2月1日~平成20年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年3月26日発表)	26,200	700	600
今回修正予想(B)	26,500	800	700
増減額(B-A)	300	100	100
増減率(%)	1.1	14.3	16.7
(ご参考) 前期実績(平成19年1月期)	25,979	654	284

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、干菓子についてはバレンタイン商戦、ホワイトデー商戦が多彩なブランド戦略や販売拠点の拡充により大幅な増収を達成するなど、総じて好調に推移しました。洋生菓子についてはご好評いただいている半生菓子の売上続伸に加え、プリンキャンペーン、マンゴージェアなどの積極的なキャンペーン展開、季節感を演出する店頭展開などにより拡販に努めてまいりました結果、当中間期の売上高は前回発表予想よりも200百万円程度上回る見込みとなりました。

損益面につきましては、カカオ類をはじめとする原料費の上昇などの費用負担の増加はありましたが、増収に加え、生産体制再構築、事業所統合に伴う業務の効率化などの効果により、経常利益は当初予想を200百万円程度上回る見込みとなりました。当期純利益につきましても、当中間期は減損会計の影響も軽微となり、当初予想を130百万円程度上回る見込みとなりました。

通期業績の予想につきましては、売上高は上半期の増加分の影響などを考慮し、26,500百万円に上方修正いたします。今後は、主力商品、イベント商品のさらなる強化により着実な売上獲得を図るとともに、関連部門が連携した原価低減活動の取り組み強化、構造改革の継続によるコスト圧縮に努め、経常利益800百万円、当期純利益700百万円の確保に注力する所存であります。

以 上